

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	吸入麻酔薬の排気システムの違いによる人工肺への影響についての検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	山田 健太
研究期間	2025年1月 ～ 2025年12月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2025年1月10日）
対象者	2021年1月より2024年3月までの3年3ヶ月間に当院心臓血管外科の手術で人工心肺を使用した患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	吸入麻酔薬の余剰ガスは医療従事者の職業被ばくなどのリスクがあり、排気は重要な要素となっています。またガイドラインにも排気について記載されています。人工心肺中に吸入麻酔を流す場合は麻酔器と違い閉鎖回路での排気システムはないのが現状です。そのため、当院では人工肺排気部に吸引用のルートを接続し排気できるようにしています。今回、排気方法麻酔器のスカベンジャーというゆるやかな吸引部分から、麻酔ガス排除装置へ直接吸引（30L/min）する方法に変更したため、排気方法の違いが人工肺に影響を与えるか検討したいと思います。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・背景因子（年齢、性別など）</li><li>・人工心肺管理データ など</li></ul>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。  静岡県立総合病院 臨床工学室 山田健太 代表 054-247-6111